

2013年度

環境活動レポート

(2013年10月1日～2014年 9月30日)



2013年4月 工場屋根に設置した太陽光パネル

作成日：2014年 12月 29日

ミマスクリーンケア株式会社

つくば工場



目 次

	ページ
(はじめに)	3
1. 環境方針	4
2. 組織の概要と対象範囲	5
3. 実施体制	6
4. 環境目標とその実績	7～8
5. 主要な環境活動の内容と取り組み結果の評価	9～10
6. 環境関連法規等の遵守状況	10
7. 代表者による全体の評価と見直しの結果 .	10
8. 環境活動について	11～12



(はじめに)

クリーンな生活と環境を願って

私どもは、先代が戦後の混乱の中から業を起こして、せんたく石けんを発売以来、一貫して清潔な暮らしに奉仕することを使命として製品づくりに専念してまいりました。今後も、私どもの社名ミマスCLEAN CAREの通り、「みらい」「まごころ」「スマイル」を合言葉に、幅広い製品ラインを通して、みなさまのクリーンな生活や環境づくりのお役に立つよう、会社内外の英知を集めて、優れた製品づくりを目指してまいりますので、何卒、一層にご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役 稲岡 幸久

会社概要

商 号	ミマスクリーンケア株式会社
設 立	昭和32年2月8日
資 本 金	1200万円
代表取締役	稲岡 幸久
事業内容	各種洗剤、化粧品の製造販売
年間売上高	21億円

沿革

昭和25年12月	東京都葛飾区上平井町1950番地において阿部六喜千個人にて阿部油脂工業所を創立、固形石けんの製造に着手
昭和30年4月	現在地に工場を建設移転、固形の洗濯石鹸を本格製造開始
昭和53年12月	他社に先駆け、無リン洗剤の開発に成功、発売開始
昭和62年10月	社長阿部六喜千 退任し会長に就任、専務阿部光弘 社長に就任
昭和62年12月	ミマスクリーンケア株式会社に社名変更
昭和63年5月	会長阿部六喜千 勲五等双光旭日賞受賞
平成元年4月	つくば工場第一期工事完成、操業開始
平成13年7月	つくば工場 ISO9001認証登録
平成20年2月	生産量増加に伴い、つくば工場の敷地面積2042㎡拡張
平成25年11月	社長 阿部光弘 黄綬褒章受章
平成25年11月	社長阿部光弘 退任し会長に就任、専務稲岡幸久 社長に就任



環境にやさしい緑の魔女シリーズ



1. 環境方針

ミマスクリーンケア株式会社 つくば工場 環 境 方 針

■ 基本理念

私たちミマスクリーンケアは「快適な生活と大切な地球環境の両立」を基本理念とし、あらゆる事業活動において積極的に地球環境の保全に配慮いたします。

■ 基本方針

1. 環境に関する法規等を遵守する
2. 事業活動に伴う二酸化炭素の排出量削減を推進する
3. 水資源使用量の削減を推進する
4. 産業廃棄物の排出量削減とリサイクルを推進する
5. 物品のグリーン購入を推進する
6. 全従業員が環境に対し高い意識を持つよう教育する

2012年 5月 2日改訂

ミマスクリーンケア株式会社
代表取締役 稲岡幸久



2. 組織の概要と対象範囲

(1) 名称及び代表者名

ミマスクリーンケア株式会社
代表取締役社長 稲岡 幸久

(2) 所在地

本社 : 〒124-0025
東京都 葛飾区 西新小岩 4丁目12-11
TEL:03-3691-1398 FAX:03-3694-0316
つくば工場 : 〒301-0852
茨城県 龍ヶ崎市 向陽台 4丁目 1番地
TEL:0297-64-7456 FAX:0296-64-7457
<http://mimasu-cc.co.jp>

(3) 事業内容

洗剤の製造販売、受託製造
化粧品・医薬部外品の製造販売、受託製造

(4) 事業規模 (年度: 当年10月～翌年9月)

事業規模	単位	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
売上高	百万円	2,380	2,273	2,186	2,071	2,090
従業員	人	89	89	87	82	82

(つくば工場)

事業規模	単位	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
総生産量	t	16,160	16,178	16,907	17,963	21,052
内液体製品	t	12,452	12,702	13,370	14,653	17,326
固形製品	t	1,799	1,784	1,891	1,832	1,570
粉体製品	t	1,908	1,693	1,646	1,477	2,156

敷地面積 16718㎡

工場面積 5797㎡

駐車場面積 2437㎡

(5) 対象範囲

つくば工場

代表者 代表取締役 稲岡 幸久
従業員数 社員 42人 (その他 15人)
(本社は数年後を目途に取り組みの予定)

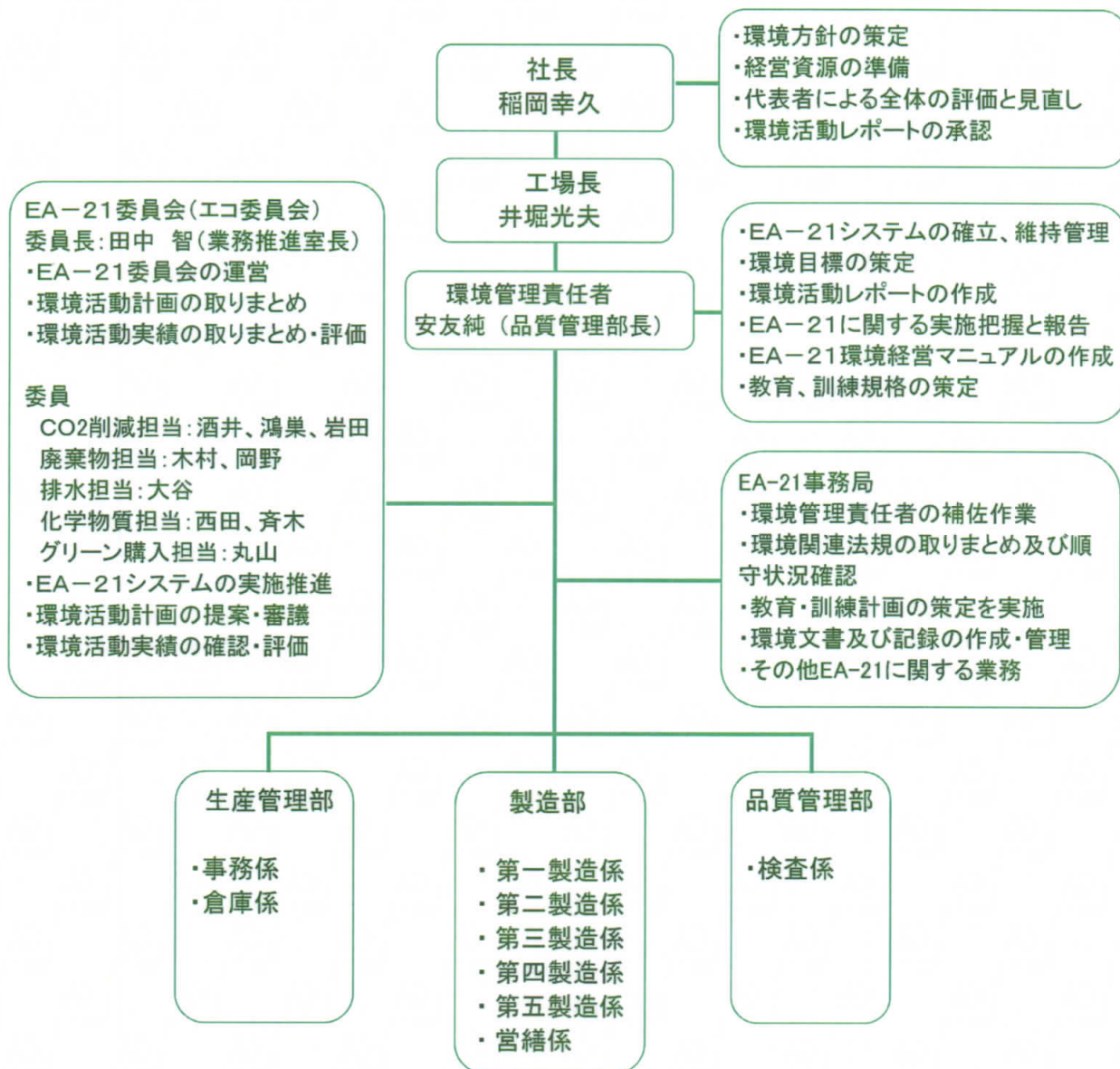
(6) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 品質管理部長 安友 純
事務局 品質管理部
連絡先 TEL:0297-64-7456



3. 実施体制

ミマスクリーンケア(株) つくば工場 EA-21実施体制図及び役割・権限・責任表



各部署責任者

- ・環境方針、環境目標、環境委員会での協議内容・決定事項を全従業員へ周知する。
- ・自部署に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
- ・自部署の問題点の発見、是正、予防処置の実施
- ・環境活動に関する教育訓練を実施する
- ・緊急事態での対応を実施する

全従業員

- ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
- ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



4. 環境目標とその実績

環境目標及び環境活動計画

(年度: 当年10月～翌年9月)

環境目標項目			2010年度実績	2011年度実績	2012年度実績	2013年度実績	今年度の目標（%削減率:対前年比）	2013年実績（削減率 %）	本社製造時実績を加味した実績（%）	2014年度目標（対前年比）
Ⅰ 二酸化炭素排出量の削減	電力量の削減 KWH		627,588	585,108	516,678	616,845	2	▲19.4	4.6	2%削減
	電力量の削減 CO2排出量 (kg)		235,346	219,416	193,754	231,317				
	ガス量の削減 m ³		98,889	96,074	97,537	129,646	2	▲32.9	9.7	2%削減
	ガス量の削減 CO2排出量 (kg)		208,498	202,562	205,650	273,350				
	石油系燃料の削減 L (ガソリン)		24,259	23,599	21,931	18,884	2	13.9		2%削減
	石油系燃料の削減 (ガソリン) CO2排出量 (kg)		56,322	54,790	50,916	43,842				
	石油系燃料の削減 L (軽油)		6,339	2,899	2,965	4,357	2	▲46.9		2%削減
	石油系燃料の削減 (軽油) CO2排出量 (kg)		16,635	7,608	7,781	11,434				
	石油系燃料の削減 L (灯油)		10,091	11,887	9,296	11,793	2	▲26.9		2%削減
	石油系燃料の削減 (灯油) CO2排出量 (kg)		25,146	29,621	23,165	29,387				
	総CO2排出量 (kg)		541,947	513,997	481,267	589,330				
	太陽光発電によるCO2削減量 (kg)				14,620 (6ヵ月間)	25,323				
Ⅱ 排水量の削減	排水量の削減(m3)		5,404	5,770	6,279	9,508	1	▲51.4	▲9.9	1%削減
Ⅲ 廃棄物の抑制と管理	一般廃棄物(kg)		3,958	3,326	3,023	3,246	2	▲7.4		2%削減
	産業廃棄物	混合廃棄物(kg)	7,820	5,820	3,800	7,590	2	▲99.7		2%削減
		汚泥(kg)	39,260	29,800	21,640	23,680	2	▲9.4		2%削減
		木製パレット(kg)	12,812	12,120	11,350	17,470	2	▲53.9		2%削減
	リサイクル	廃プラ再生量(kg)	8,425	19,675	14,130	20,010	－			－
		古紙・段ボール再生量(kg)	46,753	41,750	41,080	51,421	－			－
化学物質の適正管理			PRTR物質の適正管理・法の遵守							
グリーン購入の推進			事務用品等で購入を推進							
環境負荷低減に資する製品の製造(t)			213	352	407	790	RSPO認証取得品、緑の魔女シリーズ			

※購入電力の排出係数: 0.375(kg-CO₂/kWh)

※2011年度以降の軽油の大幅な減少は、前年までの数値に本社の分も一部含まれていた為

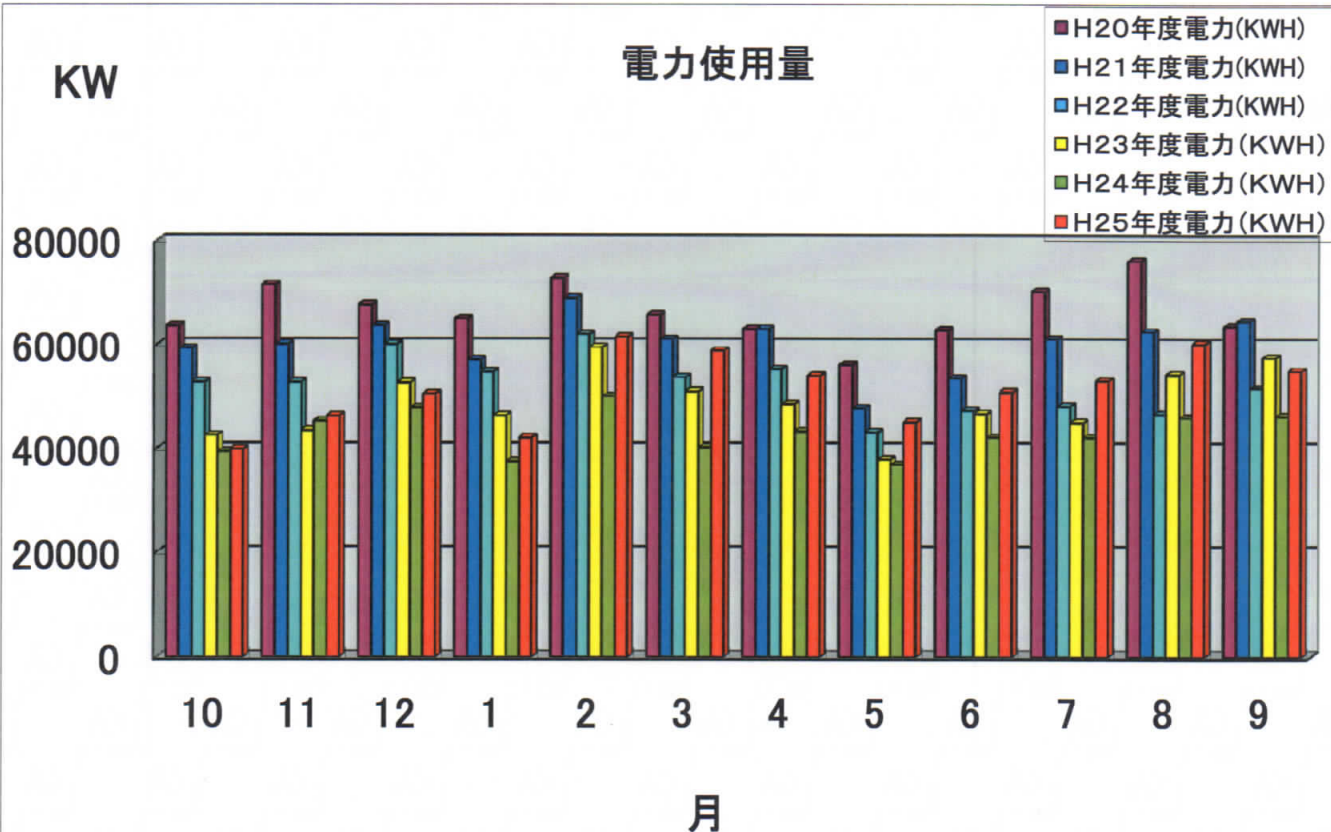
※本社製造時実績は、2013年1月～9月の本社工場電力・ガス・水道量を加えた数値として換算した場合

※産業廃棄物には、本社工場解体時(2014年前半)の廃棄物が含まれる。



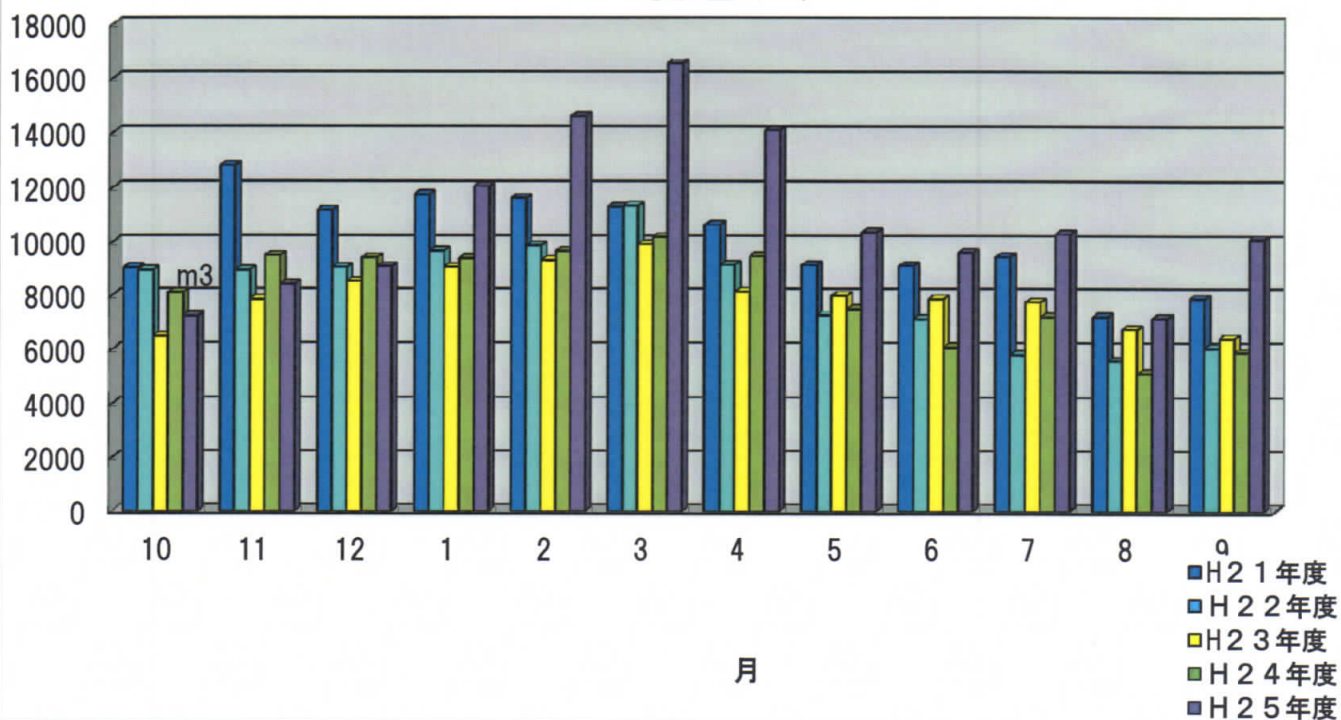
KW

電力使用量



本社工場分の製造開始は2014年1月より始まる。

ガス使用量 (m3)



月



5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果及び評価

①. 主な環境活動計画の内容・活動・評価

活動項目		活動内容	活動状況	評価	
電気使用量の削減	1.	節電パトロールの実施	社員が毎日交代して、工場内を巡回し、電気の使用状況を記録	本社工場建て替えによる生産量が大幅に増加した影響で、電力使用量は増加しているが、本社製造時の電力量を加味した割合では、昨年比で削減を達成できている。一方、製造量増加によって残業・休日製造が増加している。	○
	2.	空調温度管理の徹底	夏季28℃・冬季20℃、エアコン操作部分に表示		
	3.	節電啓蒙表示による意識付け	チャレンジ25キャンペーンのポスター等の活用		
	4.	未使用時の照明消灯の徹底	環境パトロールの推進により効果を上げる		
	5.	残業時間の削減	残業ゼロを出来るだけ継続できるように取り組む		
	6.	昼休み時の節電の徹底	消灯、機械類の停止		
化石燃料使用量の削減	1.	省エネ運転の徹底	朝礼等での呼びかけ	同上の理由により、ガス使用量の大幅増加、倉庫を新たに外部に借りた事による横持ち運搬の増加により、ガス・燃料費が大幅に増加したが、ガス使用量は本社製造時のガス使用量を加味した割合では、昨年比で削減を達成している。燃料費等は本社製造時の数値を加味する事は不可。	○
	2.	石油ヒーターの効率的使用	大型ヒーターを減らし中型・小型ヒーターに交換		
	3.	防寒ズボンの支給	防寒ズボンの支給を継続		
	4.	ボイラーの効率的使用	配管の非断熱箇所の解消		
排水量の削減		配合釜洗浄方法の見直し	高圧洗浄機の一部導入	品質上の問題もあり、削減が見られていない	×
廃棄物の削減、リサイクルの活用	1.	分別の徹底	分別場所の整備、朝礼等での呼びかけ	朝礼時或いは会議等での呼びかけ等により分別の徹底が進み、着実に効果は上がっている。 (増加分は本社工場解体時のものが含まれる)	○
	2.	コピー用紙の削減	裏紙の利用		
	3.	リサイクルの推進	分別の徹底、朝礼等での呼びかけ		
	4.	枯れ葉の堆肥化による削減	活動を継続		
その他	1.	化学物質の適正管理	P R T R法を遵守する	酸アルカリの劇物の使用量が多い為、その取り扱い・危害防止の取組を進めた。防災訓練は繁忙によりに未実施。	△
	2.	化学物質の適正管理	使用原料・製品毎に関連法規の取りまとめ・一覧表に集計		
	3.	劇物を対象とした防災訓練の実施	予定の防災訓練は実施できなかった		
	4.	グリーン購入	出来るだけエコ製品を購入する	取り組みが徐々に進んでいる。	○



② 主要な取り組みの評価

本年1月からの本社工場建て替えに伴う本社製造製品のつくば工場での製造のため、それ以降製造に追われる状況が継続し、新たな取り組みを開始する事が出来なかった。その為、活動内容は昨年までの取り組みを継続することが中心となったが、全般に製造数量の増加に伴う電力・化石燃料の使用量は、本社製造時に使用されていた電力量・ガス使用量を換算した場合は比較的強く抑えられたと考えられる。

③ その他の取り組み内容と結果

（１）教育・訓練の実施

- ・本社製造製品の製造に伴う継続的繁忙により、勉強会・訓練等は実施出来なかった。

（２）環境コミュニケーションの実施

- ・EA21（エコ）委員会の開催
- ・朝礼（全体朝礼、職域毎の朝礼）、掲示板の活用

（３）太陽光発電の導入

- ・2013年3月29日より発電開始。
- ・全量買取のため、電力量の削減には寄与しないが、CO₂削減と社員意識の向上に大きく貢献する事が期待できる（次項参照）。

6. 環境関連法規等の遵守状況

（１）遵守状況の確認及び評価

当工場に適用される環境関連法規等の遵守状況については、適正に行われている事を確認致しました。

（２）違反、訴訟等の有無

地域住民や関係機関等からの苦情や指摘及び訴訟につきましては、過去3年間にわたり有りませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直しの結果

本年度は本社工場の建て替えに伴い本社製造分がそのまま増産となり、工場の稼働時間・稼働日数も増加したため、この増産分に比例して電力量・ガス使用量が増加した。

この増産に伴う各項目の増加分をどう評価するかは難しいが、これまでの本社工場における電力・ガス使用量から換算すると、その率は高くないが、製造量の増加分として換算した場合はその率は高くなる。

一方、石油系燃料については、軽油の増加率が他項目に比べ一番高くなっているが、これは製造量の増加に伴い新たな倉庫への横持ち運送が大きく増加した事によるもので、この状況の中でガソリンでは減少させることができた。

廃棄物では、本社工場解体時のものが含まれた影響によると考えられ、抑制傾向は継続されている。

今年1月からの本社分の増産に3月の消費税増税前の需要増も加わり、全期間製造に追われる状態が継続したため、エコ活動への取り組みが困難となり、新たな対策等の取り組みが不十分となってしまった。繁忙期は特に製造優先となりがちだが、このような取り組みが後退しない様に、従業員の意識向上を継続していきたい。



8. 環境活動について

① 太陽光パネルを設置（2013年4月より稼働）

設備概要

太陽電池モジュール:223W(単結晶)×224枚

発電容量:49.952kw

パワーコンディショナー:5.5kw×8台

設置:工場屋根 折板トタンに金具で直付け

屋根勾配約18度



この1年間の実績 太陽光発電量

	検針期間	日数	発電量 (kwh)	売電金額 (円)	二酸化炭素削減量 (kg)	期間中日照時間(h)	竜ヶ崎 1981-2010 間の日照時間 間平均値	メーカー 予測発電 量(kwh)
2013年10月	9.26-10.24	29	4,311	181,062	1,617	116.9	134.3	3,801
11月	10.25-11.25	32	4,794	201,348	1,798	179.4	147.1	3,575
12月	11.26-12.23	28	4,125	173,250	1,526	131.3	175.5	4,176
2014年1月	12.24-1.23	31	5,189	217,938	1,946	209.7	183.9	4,654
2月	1.24-2.24	32	4,588	192,696	1,721	150.4	167.4	4,321
3月	2.25-3.25	29	6,070	254,940	2,276	201.4	166.8	4,775
4月	3.26-4.23	29	6,605	277,410	2,477	209.4	171.6	4,943
5月	4.24-5.26	33	7,854	339,292	2,945	251.0	164.0	5,488
6月	5.27-6.23	28	6,006	259,459	2,252	178.0	119.1	4,295
7月	6.24-7.24	31	6,094	263,260	2,285	144.9	147.6	4,662
8月	7.25-8.25	32	7,190	310,608	2,696	255.3	177.0	5,322
9月	8.26-9.24	30	4,758	205,545	1,784	118.6	129.4	3,978
計		364	67,584	2,876,808	25,323	2,146	1,884	53,991

注: 期間中日照時間は気象庁の竜ヶ崎のデータより、検針期間中の日照時間の合計値

メーカー予測発電量は、30年間の竜ヶ崎のデータより、発電能力(容量、設置角度、パワコン変換率等)と日照時間を基に算出

メーカー予測発電量に対し、25%増の実発電量を達成。

この期間の日照時間が平均値より多い(14%増)ことその他、日照時間外の曇りでも発電していることによるものと考えられます。



② RSPO認証を取得

RSPO(Roundtable on Sustainable Palm Oil=持続可能なパーム油のための円卓会議)認証を取得。
このRSPOは、世界各地で行われているパーム油の生産が、熱帯林の保全や、そこに生息する生物の多様性、森林に依存する人々の暮らしに深刻な悪影響を及ぼすことのないようにするために、2004年に設立され、弊社は2010年8月31日に加入しました。

この認証のため、毎年審査を受け、本制度の維持・発展に寄与するため、社員教育等を行っています。

③ 環境活動の取組の様子：地域社会の一員としての取り組み

(NPO法人バイオライフの活動を支援)

遊休農地の有効活用、地元産食用油の地産地消、循環型社会の構築を目指して茨城県南部を中心に活動しているNPOの活動を支援しています。

